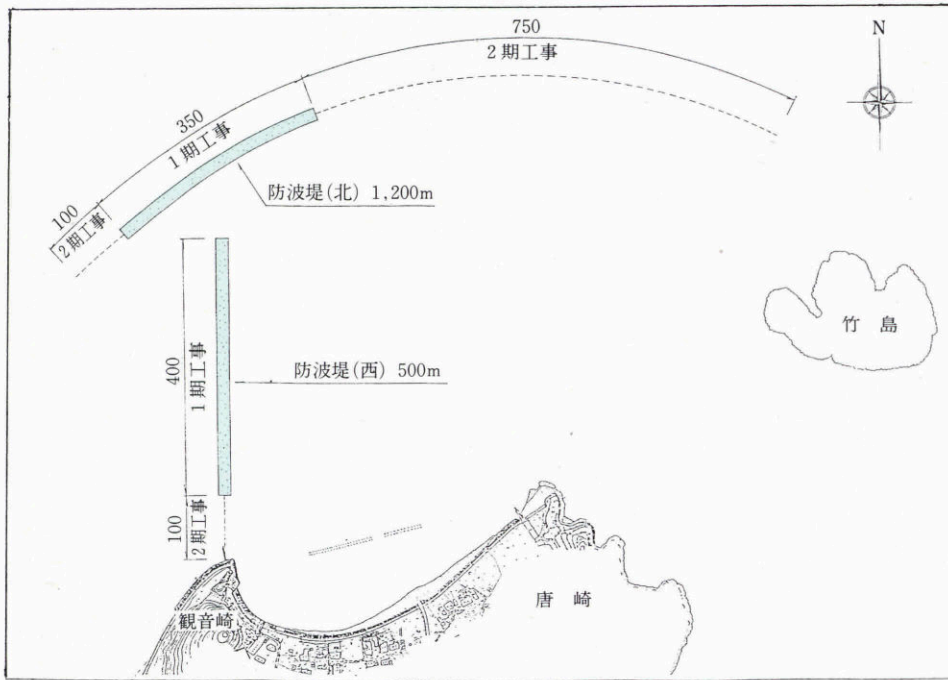
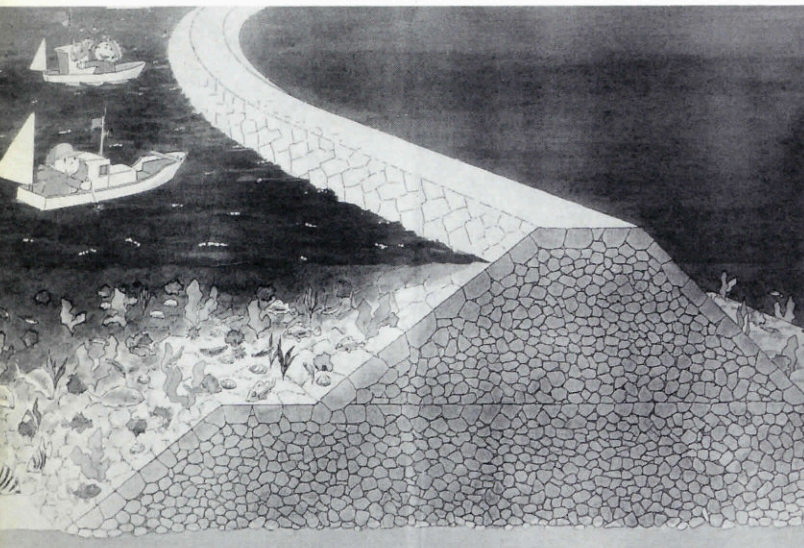


# 小型船舶避難施設平面図



▲図2. 今回着工するのは1期工事部分



▲図3. 自然石を用いた環境にやさしい工法を採用

▼図4. 漁礁としての効果も期待される



## 環境へ配慮した構造に

防波堤は油谷湾のすぐれた自然環境と景観に調和するように、また漁場への影響を考慮して自然石を投下する「捨石傾斜堤」が採用されています。(図3)

この工法により防波堤の中を海水が通り抜けるようになり、防波堤の内側と外側の海水が自然に入れ替わるようになっていきます。

また、自然石であることから海藻類の成育が期待でき、漁礁としての効果も発揮するものと期待されます。

## 今後の展望

まだ一期工事が始まったばかりで今後の計画などはまだ白紙の状態です。完成後この施設の管理は山口県が行うことになっていますが、これをどう町の発展につなげていくかは、私たちにまかされることになります。

油谷町が活性化し発展していくためには、貴重となりつつある自然の保全を図りながらこの施設を有効に利用した夢の持てる施策を、私たちみんなで考えていく必要があります。